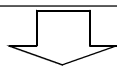


研究部

◎研究全体構想

学校教育目標

自立進取を胸に刻み、どんな時代もたくましく生きる生徒の育成
～他者や地域と関わりながら学びを深める学校～



研究主題

主体的・対話的な学びを通して考えを深め、自己の成長を実感できる生徒の育成
～「分かる・できる・楽しい」授業作りを目指して～

研究の仮説

- ①コンパクトでインパクトがあり、前時の振り返りや生徒の予想を活用した導入を行うことで、生徒は興味をもち、見通しをもって授業に参加することができる。
- ②「見方・考え方」を働かせて学ぶような指導課程の工夫や教師のコーディネート力を向上させることで関わり合いから深め合いへと深化させ、質が高く深い学びにつなげることで各教科等の資質・能力を育成することができる。
- ③適切に生徒の学びの姿をしっかりと見取って価値付けすることで、生徒が学習の目的や必要性を意識したり、学び合った成果や自分の変容などを自覚したりできるようにする。そうすることで自己有用感が高まり、主体的に学習に取り組む態度を育てることができる。
- ④学習過程の適切な場面で評価をし、授業改善に生かすことで、生徒の学びを深めることができる。

研究推進のための共通実践事項

重点事項

1 コンパクトでインパクトのある導入と見通し

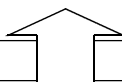
- 生徒の興味をひくような必要感のある課題設定
- 授業に見通しをもたせるために生徒の言葉を活用（振り返り、予想…等）

2 「関わり合い」から「深め合い」へ

- 生徒同士の思考を深めるために教師がコーディネート
- 生徒の意見を引き出し、深めるためにICTや思考ツールを活用

3 価値付けのための振り返りと指導のための評価

- 学びを価値付け、学ぶ意欲につなげるための振り返りと教師の見取り
- 学びを深めるための授業改善につなげる評価



学びを支える3つの約束

1 「始終時間を守る」

「1分前着席」「生徒も教師も」

2 「発言の約束」

「挙手→指名→返事→場に応じた声量と手段」

3 「聴き方の約束」

「顔を上げる」「相手を見る」